



YMCA 大阪青年

11

2023年11月1日発行
1916年6月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>



国際学校の発展と初めての卒業生

大阪YMCAインターナショナルスクール(以下OYIS)は急速に発展しています。2020年9月に国際専門学校内に国際バカロレア・ディプロマ・プログラム(以下IB-DP)を設置し、中等部(MYP)と高等部(IB-DP)を増設しました。

今年7月には第1期生20人が卒業し、IB-DPの最終試験で世界トップクラスの成績を収めました。世界平均の合格率が79%であるのに対し、約95%の生徒が名誉あるIB-DP認定資格を授与されました。これによりOYISの卒業生は国内のみならず世界有数の大学に進学することができました(日本6校、北米15校、ヨーロッパ7校、オセアニア6校、中東2校)。また、数名の生徒には多額の奨学金も提供されました。これらの素晴らしい成果は、これまでの生徒と教員の懸命な努力と献身の証です。

IB-DPは、世界最大かつ最も高く評価されている大学進学準備コースです。生徒は、さまざまな分野をカバーする6つの科目で評価されるだけでなく、重要なライフスキルを身につけるための研究プロジェクトや奉仕活動にも取り組みます。

OYISは、IB-DPの必須科目の履修だけでなく、科目履修やWASC(Western Association of Schools and Colleges)認定の高校卒業資格も提供しています。これにより、生徒一人ひとりのニーズに応じたさまざまな進路を提供する学校となっています。またOYISは世界35カ国、

40言語を話す生徒が学んでおり、PYP(幼・小学部)、MYP、DPを提供する大阪市内唯一の国際バカロレア12年一貫校でもあります。つまり、幼児期から高校3年生まで、生徒にとって最適な学びのカリキュラムが用意されています。

さらに私たちの学校は、YMCAとIB独自のコア・バリューとリンクするように、また生徒が地域社会で貢献する機会も設けています。この1年間で、地元のフードバンクを支援する全校プロジェクトを立ち上げ、人々を助けるために生徒が運営するさまざまなイベントを実施しました。また、当校の授業では、伝統的な黒板講義方式ではなく、探究型学習を通して生徒が自主的に課題に取り組み、授業をより魅力的で有意義なものにしています。生徒が学問的な可能性を達成するのを助けるだけでなく、全人格的な成長をとげることに重点を置いています。

詳しくは是非、www.oysis.orgをご覧ください。

OYIS Development and Its First Graduates

Things are changing fast at Osaka YMCA International School (OYIS). Over the past few years, OYIS has launched an extra campus at Tosabori, and added IB's Middle Years Programme (MYP) and IB Diploma Programme (DP).

In July, the school's first graduates received their results, which were world-class. Around 95 per cent

of students were awarded the prestigious IB Diploma - compared with a world average pass rate of 79 per cent. These amazing results mean OYIS students now have access to some of the world's leading universities, both in Japan and abroad (6 universities in Japan, 15 North America, 7 Europe, 6 Oceania, 2 Middle East). Several students have also been offered significant scholarships. We were delighted by our exceptional IB Diploma results, which are evidence of the hard work and dedication of both teachers and students.

The IB Diploma Programme is the world's largest and most-respected pre-university course. Students are assessed in six subjects covering different areas, as well as taking on research projects and service-minded work that gives them crucial life skills. As well as adding new programmes, the school added an extra campus.

As well as the IB DP, OYIS offers IB Courses and a high school diploma accredited by the Western Association of Schools and Colleges (WASC). This means there are different pathways depending on the needs of each student, making the school truly inclusive. OYIS is also truly international, as it is the only accredited international school in Osaka City and educates students from 35 countries, speaking 40 languages. It is also the only IB continuum school in the city as it offers the Primary Years Programme (PYP) as well as MYP and the DP. This means there is the perfect pathway for students all the way through from Early Childhood to Grade 12.

Our school helped students achieve their academic potential but also focused on developing the whole person. In our lessons, students are challenged through inquiry-based learning rather than traditional chalk-and-talk methods, which make classes far more engaging and meaningful. We also make sure students have chances to help in their local community, which links well with the YMCA and IB's own core values. Over the past year, we have launched a whole-school project to help a local food bank and run various student-run events to help local people.

For more information, please visit our school site www.oysis.org



大阪YMCA
インターナショナルスクール
中等部・高等部校長

マーク・ビールズ
Mark Beales

2022年8月に着任。タイやベトナムでIB校の発展に貢献するなど国際教育20年のキャリアを持つ。

I joined OYIS as MYP/DP Principal in 2022. During my 20-year career in international education, I have successfully helped develop IB schools in Thailand and Vietnam.

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神はくぐみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

●未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。

●生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。

●世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

ユース事業部(公益財団法人)

夏のキャンプの感想から見えてくるキャンプの魅力

ユース事業部 北・北摂YMCA ^{つだ あきお} 津田 晃男

今年の夏にYMCAキャンプに参加した子どもの保護者の方からお手紙をいただきましたので、ご紹介します。

阿南でのキャンプには今まで3人の子どもたちを参加させていただきました。今年は、一番下の小学2年生の子どもが参加しましたが、日頃のYMCA野外活動で体験・経験してきたことを十分に発揮できる機会であり、めったに経験のできない海での自然体験活動、見知らぬお友だちとの宿泊やキャンプファイヤーなど初めてづくしていい思い出になったと思います。特に、親がいない中で不安もあったと思いますが、新しいお友だちもたくさん作って、リーダーたちや仲間との絆も深くなり、阿南でのキャンプを通して新たな成長やたくましさを感じました。

帰ってくるなり、クロダイを捕まえようとしたけど動きが早くて捕まえられなくて悔しかったこと、でもいっしょに泳ぐことができて楽しかったことなど、来年も行きたいとキャンプでのさまざまな体験を生き生きと話してくれました。夏休みの宿題の絵日記にも書いてある様子など、思い出に残る経験をさせていただき、ありがとうございました。

YMCAキャンプに参加する子どもたちは、楽しみだけでなく、どんな人が参加しているのだろうか？友だちになれるかな？など少なからず不安を感じています。参加するにあたり、そんな思いを秘めた子どもたちが、楽しかったと帰ってくる姿には、生きていくための大切な経験と学びが含まれています。

もうすぐ冬の自然を舞台としたスキーキャンプやデイキャンプの申し込みが始まります。「スキー楽しかった」「友だちできた」などの声を聞けるように準備しています。皆さんのご参加をお待ちしています。



ユース事業部(学校法人)

環境持続可能性への一歩

～第7回グローバルユースカンファレンス(GYC)報告～

^{ドミニク バングラッソ} 大阪YMCAグローバル推進室 室長 **Dominic Pangrazio**

GYCとは、若者を対象にグローバルリーダーを育成することを目指した国際会議です。今回は、グローバルな課題や地球市民としての役割を啓発することを目的に3日間開催しました。このカンファレンスでは、若者自身が自分たちのための地域社会や国際社会に積極的に影響を与えることを目標としています。今回のGYCは、6つの異なる国からの9人のボランティアファシリテーター、アクティビティリーダー、司会者が運営者となり、多様な文化とバックグラウンドを持つ参加者に多くの学びの機会を提供しました。

8月11日(金・祝)には、関西地区に住む若者たちが神戸市北区を拠点とするNGO Peace & Nature Environmental Educationと六甲山YMCAを訪ね、環境についての持続可能性に関するアウトドアアクティビティを行いました。また8月12日(土)と13日(日)には、個人が環境へもたらす悪影響を減らすためのオンラインワークショップや、文化交流を促すプログラムを行いました。15の国と地域から合計45人のユース(18歳～28歳)が、このワークショップ・プログラムに参加しました。

参加者たちは、マテリアリズム(物質主義)と過剰消費、電子廃棄物、持続可能な生活、包括的な思考とウェルビーイング、二酸化炭素排出量の計算など、さまざまなテーマについて学び、討論し

ました。これらのディスカッションを通して、地球環境に対して個人が貢献できることについて洞察する機会となりました。

最後に参加者から、「二酸化炭素排出量を削減し、それぞれの地元コミュニティが地球温暖化を防ぐためのサポートを行う」という宣言がなされ、フォーラムが締めくくられました。次世代のリーダーが環境問題に取り組むための大きな一歩となり、地球の未来を守るための希望を示しました。



【参加者の声】

GYCに参加したことで、他の国からの参加者と知り合うことができ、たくさんのインタラクティブな活動を通して環境問題について学ぶことができた。大学の講義に比べ、学びやすく、インパクトがあった。

Minhさん(ベトナム)

アクティビティやワークショップはよく企画されていた。また、各ユース・ファシリテーターがそれぞれの熱意を持ってワークショップに取り組んでいたため、魅力的で印象に残るものだった。

Mayuさん(日本)



こども園事業部

子どもの「やりたい！やってみよう！」が実現できる園を目指して

～一人ひとりのイキイキしている笑顔とともに～

YMCAしろがね幼稚園 園長 ^{ひのうえ けいち} 樋上 恵一

YMCAこども園では、子ども、保護者、保育者それぞれが園生活を通して共に成長することを願って様々な活動をしています。今回はその中から保護者の活動内容と声を紹介いたします。

保護者の主な活動内容

こども園では、年間を通して保護者会役員の方々を中心となって、保護者会一人ひとりに園運営のサポートをしていただいています。主な活動としては、松尾台、しろがね幼稚園の各園でのおまつりの企画運営、子育て講演会の開催やサークル活動(バレーボール)、運動会でのメダルの寄付および贈呈、そして年3回(学期毎)の園環境清掃奉仕(窓ふき・草抜き等)などです。それぞれの活動を通して保護者の方々にとって出会い、共に成長する機会となることを願っています。

保護者の声(卒園児保護者)

子どもの「笑顔のために」という思いでそれぞれの活動に全力で取り組みました。様々な理由で活動内容を制限することもありましたが、保護者同士、知恵を出し合いながら失敗を恐れずチャレンジすることができました。そして活動に参加し、いろんな方と交流することで自身も親として成長した姿を子どもに見せることもでき、とても嬉しく思いました。

家事や子育て、仕事しながらで大変なこともありましたが、保護者間で協力して一つひとつ乗り切ることができました。「かわいい子どもたちのために」「お世話になった幼稚園のために」という思いでスタートしましたが、様々な関わりからかけがえのない仲間(友だち)ができたことに心から感謝しています。これからも保護者同士、「子どもたちの笑顔」を真ん中に仲良く楽しく活動が進められることを願っています。



毎年11月に開催される「しろがねバンビカーニバル」の様子

アジア・太平洋YMCA大会(APAY大会)で感じたこと

堺地域ユースボランティアリーダー ^{うえの ゆき} 上野 由貴

9月13日(水)から19日(火)まで行われた、ユース・アッセンブリー及びアジア・太平洋YMCA大会(APAY大会)に参加しました。

人生初めてのインド、飛行機を降り、チェンナイへ足を踏み入れた瞬間から衝撃が走りました。日本の整備された道や、いつでも必要なものを買うことができるコンビニエンスストア、蛇口から飲むことができる水…自分の見てきた暮らしこそが当たり前のように感じていたそんな日々から、国が違うというだけで街並みも食べ物も、文化も何一つ違うということが、頭ではわかっていましたが身をもって改めて痛感しました。

ユース・アッセンブリーでは、小グループに分かれて、各国の若者が考える課題について討論しました。特に最終日の話し合いは日本と韓国の東アジアグループでの話し合いとなり、「引きこもりと抑うつ症状」について韓国のユースから話がありました。日本でも似たようなケースがあるということ共有しました。国を越えて同じ問題を抱えているとい

うことがわかり、自分の中にあつた国という大きい壁が少し取り除かれたように感じ、どの地域においても生きづらさを抱えているユースがいるということに新たな発見がありました。

慣れない環境のせいか体調を崩すこともあり、不安もありましたが、世界のYMCAに関わる人々との出会いは、かけがえのないものになりました。大会中の交流会で共に手を繋いだり、ダンスをしたり、食事をする中で、言葉は違えども共に笑顔になり、「これが平和を実践する第一歩なんだ」と思いました。

今回の経験を忘れず、次世代のユースの活動や今後の人生に生かしたいと思います。貴重な経験をさせていただき、ご支援いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

ユース・アッセンブリーの動画はこちら▶
<https://fb.watch/npPmo-kAwT/>



インフォメーション

大阪YMCA大会2023

はじめの一步 みんなでつむぐ VISION150

大阪YMCAの活動報告、会員表彰者紹介、交流の場を持ちます。今年度は多くの会員に楽しさを感じながら参画してもらえるよう、参加型の催しや大阪YMCAの各事業・ボランティア活動のポスターセッション紹介などを予定しています。当日会場にてお楽しみください。

日時：2023年11月23日(木・祝)13:30~16:00(予定)

場所：大阪YMCA会館 2階ホール(大阪市西区土佐堀1-5-6)

※オンライン配信あり

プログラム予定

- 奉仕の書・永年継続会員・特別感謝などの表彰式
- VISION150 公式発表
- Musicライブ・モザイクアート・Y MaCh A Cafe など
- 事業所・活動ポスターセッション紹介 など

また今年度は2032年の大阪YMCA創立150周年に向かったのVISION150の公式発表を行います。会員同士のつながりを体感し、未来の大阪YMCAと一緒に考えます。ぜひご参加ください。参加方法、プログラム詳細等については大阪YMCA大会のホームページにてご確認ください。

ホームページサイト



Facebookサイト



【お問い合わせ】

大阪YMCA本部事務局 総務
TEL：06-6441-0894
E-mail：info@osakaymca.org

大阪YWCA・関西韓国YMCA・大阪YMCA 合同祈禱週集會2023

Seeds to Blossoms: Cultivating Hope
and Love in Solidarity

「種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう～」

毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が1つのテーマをもとに心をあわせ、祈りの時を持つ世界YMCA/YWCA合同祈禱週集會を開催しています。

前半はテーマに沿った祈りのひとときを、後半の交流会では各Yの活動報告を行います。どなたでもご参加いただける集いですので、皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日時：2023年11月13日(月)18:30~20:30

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 10階 チャペル

参加費：無料

【お問い合わせ・お申し込み】

大阪YMCA本部事務局 総務
TEL：06-6441-0894
E-mail：info@osakaymca.org

こちらのQRからもお申し込みいただけます▶
11月6日(月)まで



第355回早天祈禱會

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話しいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。祈禱會の後、朝食會を予定しています。

日時：2023年11月17日(金)7:30~8:30

証し：北野 瑞季さん(大阪YMCA本部事務局 スタッフ)

場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル(大阪市西区土佐堀1-5-6)

参加費：300円

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



【お問い合わせ】

大阪YMCA本部事務局 総務
TEL：06-6441-0894
E-mail：info@osakaymca.org

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2023年9月度報告・敬称略

【新規会員】

荒柴 亜衣
池谷 佳菜実
上田 晴繁
洲崎 優実
竹本 幸未
中筋 千尋
西野 純平

大西 可奈子
尾形 丈二
小川 道雄
切通 菜摘
小島 宏樹
島田 真一
谷川 寛
朱 宰亨
長尾 文雄
浜崎 正三

久岡 美弘
藤川 愛
古川 奈未
眞嶋 克成
森本 武
山形 浩一

【継続賛助会員】

大志野産業株式会社
株式会社バーナル
阪急電鉄株式会社

【継続会員】

宇埜 充洋

ユースリーダー安全支援金へのご協力に 感謝申し上げます。

2023年9月度報告・敬称略

市川 博一
市原 杏珠
市原 慶人
伊藤 舞香
鶴川 まり子

大阪長野ワイズメンズクラブ
関 寛之
千谷 順子
高橋 京子
竹中 豊明

田中 真奈美
仲原 成岳
長谷川 洋一
東 来香

皆様のご協力により、総額575,304円、268件(9月30日付)の募金を集めることができました。感謝をもってご報告させていただきます。

大阪YMCA
ホームページ



ボランティア
スクエア

